

講義名	研究演習 (人)		
講義コード	25206	授業形態	
担当教員	魚田 尚吾	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 5時限
		演習分野	SEM250

学部・学科	演習分野
人間社会学部 人間健康学科	スポーツ医科学演習

**概要説明**

当研究室では、競技スポーツ選手のスポーツ外傷・障害予防や、ジュニア選手の将来的なパフォーマンス向上に関する研究と実践を行っています。授業は基本的に対面で行い、補足としてオンラインを活用します。

**研究演習**  
 実践的に身体を動かし、データを測定しながら、スポーツ医科学に関する重要な理論を確認し合います。

**研究演習**  
 それぞれがスポーツ医科学に関する情報を集め、批判的な思考で情報を整理し、研究室内で共有していきます。その中で生まれた問いについて、研究計画書を作成していきます。

**研究演習**  
 科学的根拠に基づいた情報を整理し、レビュー・レポートや研究結果発表などの成果物を作成します。

**卒業研究**  
 自らの問いを検証するために研究を実施し、卒業論文を作成します。

**主な卒業論文のタイトル**

例) 体力トレーニングが〇〇に及ぼす影響、〇〇とフィジカルパフォーマンスの関係性など

**教員からの要望**

楽しく学んでいくために、些細な疑問を大事に、自分で問いを立て、検証していく前向きな姿勢を希望します。

**選考方法**

**研究演習**  
 面談期間中に対面による選考を行います。面談可能時間はガイダンス資料に示します。

**研究演習**  
**研究演習** の単位を取得した者を優先します。それ以外の募集は、面談により選考を行います。

**研究演習** および**卒業研究**】  
**研究演習** の単位を取得かつ**研究演習** で研究計画書を作成した者に限ります。

**評価方法**

出席、課題（レポート、プレゼンテーションなど）、ゼミ活動に対する積極性などから総合的に評価します。

**到達目標・成果物**

**研究演習**  
 到達目標： 個別の問いを立て、情報収集を始めること  
 成果物： 実践的なデータ収集により生まれた気づきや問いをオンライングループ内で共有し、最終回にプレゼンテーションを実施

**研究演習**  
 到達目標： 批判的な思考を取り入れ、情報収集と整理記録ができるようになること  
 成果物： 研究計画書

**研究演習**  
 到達目標： 科学的根拠に基づいた成果物を作成できるようになること

教員英字氏名	研究室
Shogo Uota	V棟4階5421研究室

**最終学歴**

大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科博士後期課程（単位取得後退学）

**学位**

スポーツ科学修士

**主な研究活動・社会活動・研究業績**

現在の研究テーマ  
 スポーツ外傷・障害予防を目指した着地動作戦略  
 ウェアラブルセンサーを活用した新たなテニスパフォーマンスの定量化と介入効果の検証

日本テニス協会  
 強化育成本部 強化サポート委員会  
 強化育成本部 富士山プロジェクト委員会  
 普及推進本部 医事委員会  
 関西テニス協会 スポーツ医・科学委員会  
 大阪府テニス協会 スポーツ医科学委員会

**趣味・特技**

畑で野菜づくり (2026/2~)

**所属**

人間社会学部人間健康学科

**所属学会**

日本アスレティックトレーニング学会  
 日本臨床スポーツ医学会  
 日本体力医学会  
 日本テニス学会

**専門分野**

体力科学、トレーニング科学、アスレティックトレーニング学

**担当科目**

トレーニング科学理論  
 健康運動科学理論  
 トレーニング科学実習  
 健康運動科学実習  
 運動処方演習Ⅱ  
 スポーツバイオメカニクス

**備考**

**実務経験の有無及び活用**

実務経験あり（スポーツ実践現場でのインターンシップの機会を提供可能）